

第 2 章 当山小学校の現状

2-1 当山小学校の規模

(1) 当山小学校の概要

当山小学校は、平成 29 年 5 月 1 日現在において児童数が 1,091 人、学級数が 36 学級であるため文部科学省が示す過大規模校(31 学級以上)となっている。また、当山小学校が保有する通常教室数は 31 であり通常教室数が不足している状態のため、特別教室を転用して教室数を確保している状態である。(表 2.2 参照)

表 2.1 当山小学校の概要(平成 29 年 5 月 1 日現在)

	敷地面積(A+B+C) : 21,070 m ²
	建物敷地(A) : 11,387 m ² 運動場(B) : 7,114 m ² その他(C) : 2,569 m ²
児童数 : 1,091 人 学級数 : 36 学級 (通常学級 : 30、特別支援学級 : 6)	

出典 : 平成 29 年度 公立学校施設等の総括表(小学校) より作成

表 2.2 当山小学校の保有教室数

保 有 教 室 数										
通常 教室	特 別 教 室 関 係									
	理 科	生 活	音 楽	図 画 工 作	家 庭	視 聴 覚	コ ン ピ ュ ー タ 室	図 書 室	特 別 活 動	教 育 相 談
31	2	—	2	1	1	1	1	1	2	1

出典 : 平成 29 年度 公立学校施設等の総括表(小学校) より作成

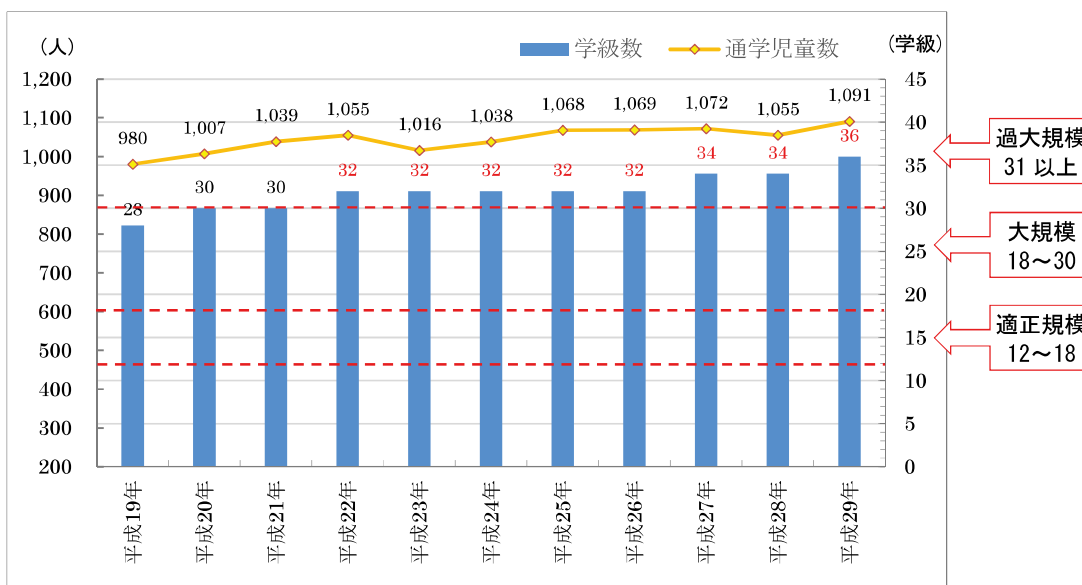
※通常教室の不足分については、一時的に特別教室を通常教室に転用している

(2) 当山小学校の児童数・学級数の推移

当山小学校は、平成 22(2010)年に学級数が 32 学級となり文部科学省が示す過大規模校(31 学級以上)の状態が 8 年間続いている。(図 2.1 参照)

また、『平成 29 年度当山小学校過大規模解消に関する基礎調査業務委託(その 2)』による推計では、今後 20 年以上当山小学校は過大規模校の状態が続くと想定されている。

図 2.1 当山小学校の児童数・学級数の推移



出典：標準学級^{※2}推計表(浦添市)より作成

表 2.3 学校規模の分類

学校規模	過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
学級数	5 以下	6~11	12~18	19~30	31 以上

出典：公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引き(文部科学省)

^{※2} 同学年の児童で編成する学級(1年生 35人、2~6年生 40人)：小学校設置基準第四、第五条

2-2 当山小学校周辺の現況

(1) 当山小学校周辺の状況

図 2.2 当山小学校周辺の写真方向図



◆ 小学校周辺道路

小学校前の道路は交通量も多く、児童の登下校時には混雑する。

写真①. 正門側の道路(幅員 8.5m、歩道 1.2m)

写真②. 裏門側の道路(幅員 5.0m)



◆学校周囲の塀やフェンス

学校の敷地と周辺との高低差があるため、校区内外に間知ブロックがある。

写真③. 校区内に隣接する高い間地ブロック

写真④. 学校側の間地ブロック



◆外灯の設置状況

外灯は学校周辺には多く設置されているため、夜間でも一定の明るさを確保できている。(冬季は日が沈むのが早いため)

写真⑤. 小学校周辺の外灯

写真⑥. 小学校周辺の外灯



◆その他

写真⑦. 当山小学校の駐車場

写真⑧. 当山小学校から見える浦添城跡



(2) 当山小学校区の状況

当山小学校区は、浦添市の東側に位置しており、北側は宜野湾市、東側は西原に接している。南西側には大規模な浦添大公園及び墓地が位置し、地区内には、牧港川が縦断し、牧港川沿いには斜面緑地が残されている。また、区域内には西原インターがあり、今後整備予定のたご浦西駅、幸地 I C により利便性の高い交通結節拠点が形成される。当区域は、西原、当山などの旧集落や区画整理事業による市街地によって形成されている。

図 2.3 当山小学校区の写真方向図



◆当山小学校区を横断する道路

写真①. 小学校区を縦横断する国道 330 号

写真②. 小学校区を縦横断する県道 241 号線



写真③. 国道 330 号に架かる歩道橋



写真④. 小学校区を縦横断する国道 330 号と県道 241 号線



写真⑤. 国道 330 号に架かる道路 1



写真⑥. 国道 330 号に架かる道路 2



写真⑦. 国道 330 号を横断するトンネル



写真⑧. 県道 241 号線に架かる歩道橋



◆その他

写真⑨. 牧港川を横断する普天間参詣道



写真⑩. 小学校区を横断する送電鉄塔



写真⑪. ゴルフ場



写真⑫. 浦添城跡壺園

